

法学部特別講演会

台湾における LGBT法制化をめぐる攻防

性的マイノリティに対する権利保障の視点から、台湾におけるLGBT法制化を巡る議論を紹介し論じます。2017年5月に憲法解釈で同性婚は認められましたが、2018年11月の統一地方選挙にともなう同性婚や性的マイノリティの教育に関する国民投票の結果は、LGBTの権利発展に暗い影を落としました。今後の法制化にどのような影響を及ぼすかについても検討を加えたいと思います。



てい めいせい

講師： **鄭明政**（台湾国立勤益科技大学助理教授）

討論者： **館田 晶子**（北海学園大学法学部教授）

李 妍淑（北海学園大学非常勤講師）

進行： **菅原 寧格**（北海学園大学法学部教授）

日時： **1月17日（木） 16:00-17:30**

主催： **北海学園大学法学部**

場所： **北海学園大学豊平校舎34番教室**
（地下鉄東豊線「学園前」駅直結）

※お問合せは法学部事務室まで

011-841-1161（代表）

◆鄭明政先生について◆
鄭氏は、2011年に論文「社会給付と生存権の憲法理論」により博士（法学）を取得された台湾を代表する知日派の憲法学者である。本講演では、日本の社会事情についても明るい同氏から、氏の専門とする社会権の非常に重要な今日的局面であるLGBTや性的マイノリティをめぐる、近時の台湾で法制化が進んだ背景について講演を行っていただくことにより、本邦における問題解決に向けた可能性を展望する。